

## 外部評価に関するアンケート 集計結果

(傍聴者数 20人アンケート回収枚数 10枚)

### 【1 職員の説明についてどう思われましたか？】

	①よくわかった	②普通	③わからなかった
人数	3人	5人	1人
割合	33.3%	55.6%	11.1%

(よくわかった理由)

- ◆プレゼンの技術はもう一つ迫力がなかったが、内容の豊富さが十分あった。質疑内で、成果指標に関する議論が面白かった。

(普通とした理由)

- ◆ひまわりを見ている人にはある程度わかると思う。
- ◆具体的な説明がほしかった。

(わからなかった理由)

- ◆外部評価実施要領を徹底的に勉強しなおす必要がある。

### 【2 配布資料についてどう思われましたか？】

	①わかりやすかった	②普通	③わからなかった
人数	1人	7人	1人
割合	11.1%	77.8%	11.1%

(普通とした理由)

- ◆行政評価票(8)の事業評価の説明不足。(9)今後の改善方針の問題点や改善方針の内容がもっといったと思う。
- ◆文化の家がさらにやりたいこと、予算の制限によりやれない事等を聞きたかった。
- ◆補足内容を追加するべき。
- ◆政策と事業の関係が分かるように。

(わからなかった理由)

- ◆内容がない。マンネリ。積極性がない。

### 【3 時間配分についてどう思われましたか？】

	①長かった	②ちょうどよい	③短かった
人数	0人	6人	2人
割合	0%	75%	25%

(ちょうどよいとした理由)

- ◆一日で4テーマであることを考えると適切と感じた。

(短かったとした理由)

- ◆討議の項目を司会者が的確にキャッチして突っ込んだ議論が必要(委員も勉強不足)

#### 【4 個別の事業について感想・意見をお聞かせください。】

##### (1) ケーブルテレビ番組制作委託事業

- ◆効率性や費用について厳しい意見が出ていたが、市民目線から見ると当然と思えた。1つのテーマでこれだけの多様な意見や評価の考え方があるのかと感じた。外部評価委員は総じてしっかり学習している。学ぶことが多かった。
- ◆行政はどちらかというと広報活動が弱い。業務量が多いことを市民にもっと知らせるべきと思う。
- ◆太田委員と委員長の指摘の通り、広報施策全体の中でこの事業を評価する必要がある。広報政策の最も重要な目標は、情報公開、説明責任だと思う。この視点からは、長久手の現状には多くの問題がある。「面白い」かどうかというレベルの問題ではない。課長の答弁にもあったように各メディアの役割分担を考えて、今後の在り方を改善する必要がある。「面白い」かどうかについては、中島委員の指摘が重要だ。問題の「掘り下げ」が足りないと受け止めてほしい。要望を言うと、情報入手可能性が限られるケーブルテレビでは「広報ながくて」の機能は代替できない。また、情報が流れ去ってしまうケーブルテレビでは、蓄積力の高いHPの機能は代替できない。広報全体の予算が限られているなら、予算をシフトしてもよいのではないか。
- ◆長久手市が協業化(当時1, 5億円?)のケーブルテレビ事業に参画されたと聞き及んだが。結果的にケーブルテレビ事業に利用されたのではなかったか。

##### (2) 総合防災訓練実施事業

- ◆9月1日に行われる防災訓練は、関東大震災を意識した行事のように思われる。もう少し市民が参加しやすい時期(10月等)を選んでほしい。
- ◆訓練のための検討に聞こえる。今発生した時の対応に軸を変えるべき。
- ◆災害時の対応は自助共助が基本。避難所へ行っても行政ができることは限りがあるとはっきり言ったらどうですか。長久手は、大災害時には名古屋市から押し寄せる何万人何十万人の被災者をどう受け入れるかという問題に直面するでしょう。もっとリアルに住民に言ってもいいのでは。
- ◆現行事業の評価をシビアにされたい。
- ◆深夜の災害対策はどうか。消防団、青年団の活動か。長久手の猿投山北断層他尾張・岐阜・三河・から東海地域の地形(写真、地形図)の検討はどのように進んでいますか。

##### (3) 出産祝金支給事業

- ◆継続すべきであろう。ただし3年以上継続して本市の住民基本台帳に記載さ

れていること※若い世代を本市に呼び込める。

#### (4) 文化事業業務

◆文化の家の維持管理費、減価償却費、運営管理に要する人件費など相当多額な予算を必要としている。これに見合う事業の評価を容易に A とする理由が分析されていない。

企画事業内容がマンネリ化している。新しい分野をどう取り入れるか。

民間に運営管理を委託する場合と比較検討する必要あり。

外部評価実施者の評価項目は概して甘い。それぞれ専門分野について、より一層の知識を持ち合わせてほしい。

市担当者の方々も常に新しい感覚を持っていただきたい。旧来の延長では文化の変化についていけない。(市民全体の文化の家の活用→幅広い分野に入り込むこと)

◆特に問題はないように思われるが、財政状況が厳しさを増すように思うので、文化事業でも聖域ではないので、費用の軽減と受益者負担を増すべきであろう。

◆長久手市が周辺市町村から文化の町であるとの評価が高いのは、文化の家の活動展開があつてのことだと確信し、評価を高くした。

◆年間事業費5,500万円が10倍近い経費(建物管理費含む)支出では折角の事業も考えざるを得ないようになりますね。体験しましたが森の学校(映画)で10人足らずでしたよ。Nバスの活用で人を集める計画をすべきです。

#### 【5 今日の外部評価を何でお知りになりましたか？(複数回答可)】

	①広報	②ホームページ	③人から聞いた	④その他
人数	5人	0人	1人	0人
割合	83.3%	0%	16.7%	0%

#### 【6 全体を通してお気づきになったこと、感想をお聞かせください。】

◆外部評価実施要領第3条(2)の結果を公開してほしい。

◆傍聴者が少ないが、続けてください。公開は広報「ながくて」にもPRされていたが、一般の方にはどういうことをするのかよくわかっていないようだった。

◆市民の参加が少ないように思われる。周知不足ではないか。

※市民はおおむね行政手法に満足しているのでは、又は無関心か？

◆毎年やりましたか？毎年やってほしいです。市としては、広い領域をカバーしているが市民の一人一人は個別のインタレストで行政を評価したがる。市政の広がり、バランスを維持しているかチェックのため、広く公開されるべき会議であると思う。

◆中島委員の意見は声も大きくはっきりしていてよかった。

◆しょうがないからやるのではなく、必要だから実施する。そのために市民をどのように動員、伝達するかを考える。

【7 よろしければ性別と年齢、住所を教えてください】

	①男性	②女性
人数	7人	1人
割合	87.5%	12.5%

	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80~
人数	0人	0人	0人	0人	0人	3人	3人	2人
割合	0%	0%	0%	0%	0%	37.5%	37.5%	25%

	①長久手市在住	②市外在住
人数	7人	0人
割合	100%	0%